



福島県内経済情勢報告

令和 5 年 7 月

財務省東北財務局
福島財務事務所

目 次

ページ

1. 総 論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

※各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

※掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

1. 総論

【総括判断】 「県内経済は、持ち直しつつある」

項目	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→

(注) 5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を上回るなど、持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが弱含んでいるなど、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、有効求人倍率が上昇しているなど、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回(5年4月判断)	今回(5年7月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	↗
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

設備投資	4年度は増加見込み	5年度は減少見込み	↘
企業収益	4年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が拡大	「下降」超幅が縮小	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

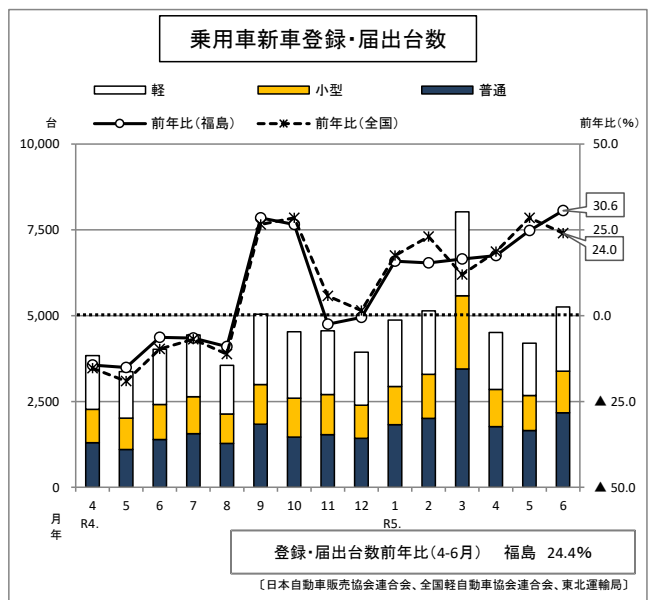
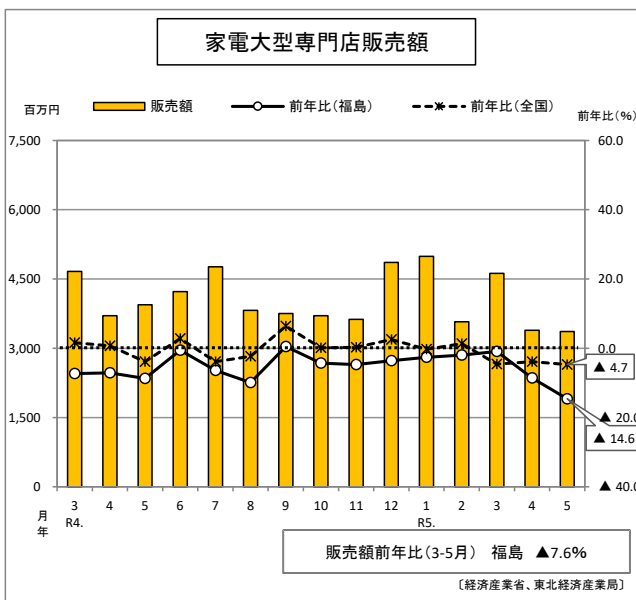
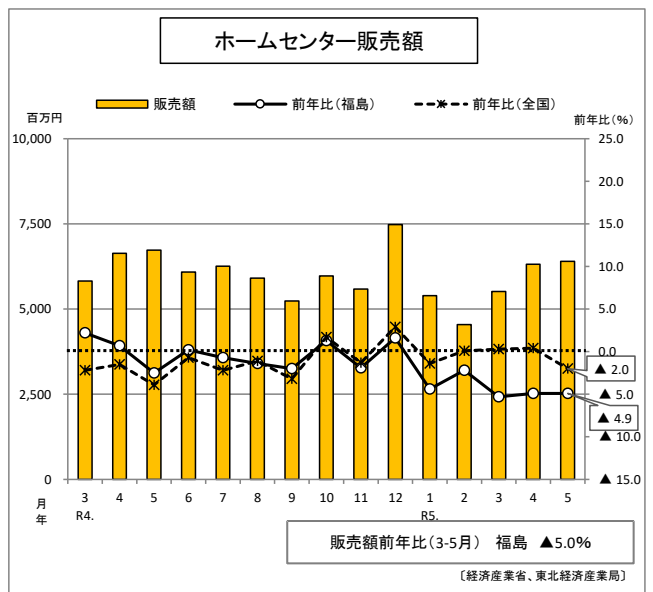
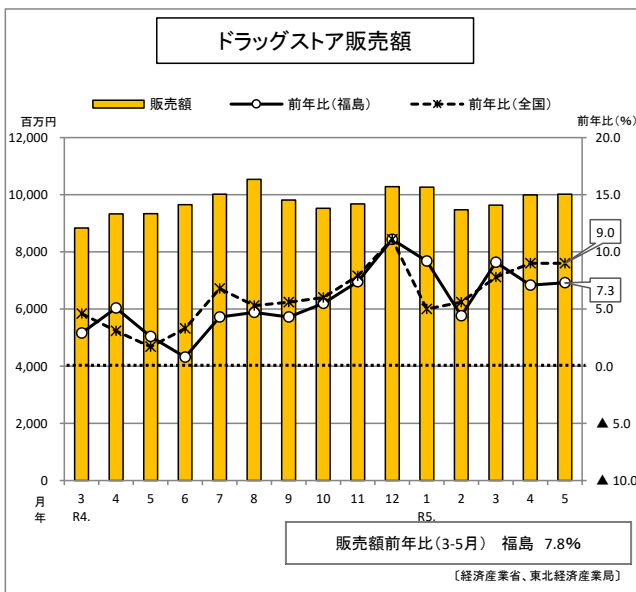
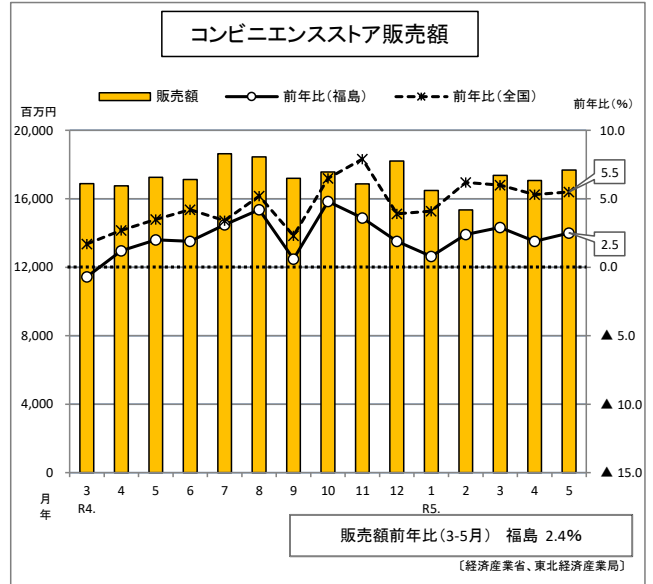
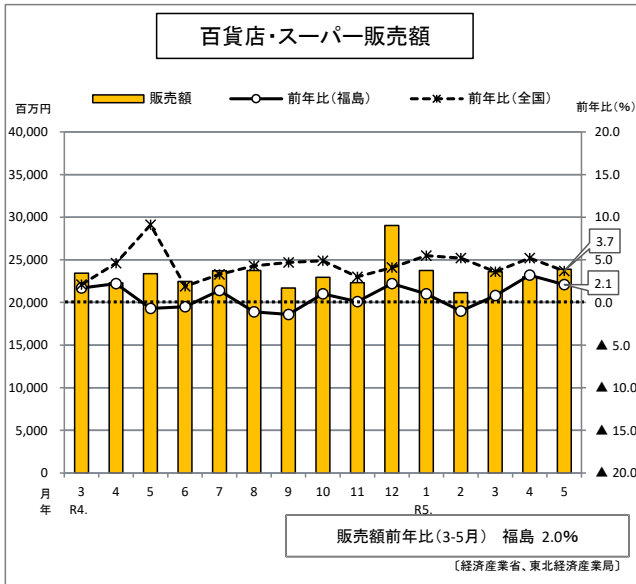
2. 個人消費 … 持ち直しつつある



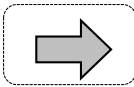
- (1) 百貨店・スーパー販売額は、衣料品が好調となっているほか、飲食料品が堅調となっていることから、前年を上回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、米飯や飲料が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (3) ドラッグストア販売額は、化粧品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、木材や日用品が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、パソコンやテレビが低調となっていることから、前年を下回っている。
- (6) 乗用車販売（新車登録・届出台数）は、受注残の納車が進んだことから、前年を上回っている。
- (7) 旅行は、感染症の影響緩和により、国内が好調となっているほか、海外に動きがみられることなどから、持ち直している。

～ <参考> 個人消費に関する地域の声 ～

- オケージョン需要に加え、外出機会の増加により、衣料品が好調となっている。
○総菜は値上げを行ったものの、食卓の一品として定着しており、引き続き好調となっている。
(百貨店・スーパー)
- 販売促進効果により弁当が好調となったほか、気温が高く推移したことなどにより飲料が好調となった。
○感染症の影響緩和に伴う人流の増加により、来店客数は前年を上回っている。
(コンビニエンスストア)
- マスクを外す機会が増加したことから、口紅等の化粧品が好調となっている。
○感染症の影響緩和により、抗原検査キットやマスクなどの感染症関連商品の売上は減少している。
(ドラッグストア)
- 木材や作業資材は、昨年発生した地震による被害家屋等の修繕のため需要が増加した反動により、今期は低調となっている。
○物価高による節約志向の高まりから、日用品等ではより安価な販売店への買い回りや、メーカー品よりも価格の安いプライベートブランド商品へのシフトがみられる。
(ホームセンター)
- パソコンは、昨年まではオンライン授業に伴う需要がみられたが、今年是对面授業が主流となり需要が落ち込んでいる。また、テレビは巣ごもり需要や昨年の地震による買い替え需要の反動により、低調となっている。
○感染症の影響緩和により、消費の対象が旅行や衣料品に移っており、家電に対する購買意欲の低下がみられる。
(家電)
- 自動車の生産台数が増加していることから、納期の長期化が緩和され、受注残の納車が進んでいる。
○新型車は値上げによる買い控えもみられず、受注は好調となっている。
(自動車販売)
- コロナ禍で旅行を控えていた反動により、国内旅行を中心に旅行意欲は高い状況が継続している。
○修学旅行の実施状況はコロナ禍前と同程度まで回復している。海外旅行にも動きがみられ、台湾や韓国が人気となっている。
(旅行)



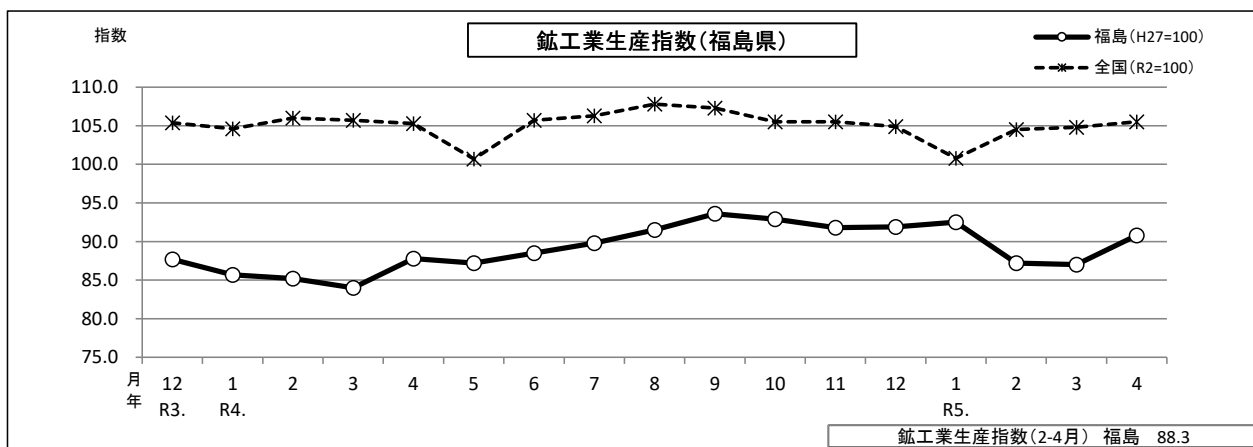
3. 生産活動 … 持ち直しのテンポが緩やかになっている



- (1) 汎用・生産用・業務用機械は、自動車向けなどが堅調となっているものの、中国向けの動きが鈍化していることなどから、一進一退の状況にある。
- (2) 輸送機械は、半導体不足の影響緩和等により、緩やかに持ち直している。
- (3) 化学は、電気自動車需要の高まりなどにより、高水準となっている。
- (4) 情報通信機械は、海外経済の減速等を背景に持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- (5) 電子部品・デバイス、海外経済の減速を背景にスマートフォンやパソコン向けなどが低調となっていることから、弱含んでいる。

～ <参考> 生産活動に関する地域の声 ～

- 自動車向けの受注は、半導体不足を背景とした完成車減産の影響が改善傾向にあることから、前年を上回っている。
○建設機械向けの受注は、欧米は堅調となっているものの、中国は景気減速を背景に弱含んでいる。
○電子機器向けの半導体需要が低迷していることを背景に、半導体製造装置関連の受注が減少している。
(汎用・生産用・業務用機械)
- 自動車向けの受注は、半導体不足の影響が徐々に緩和していることから、増加傾向となっている。
(輸送機械)
- 電気自動車向けの需要拡大に伴い、高操業が続いている。
(化学)
- 自動車向けの受注は増加傾向にあったものの、海外経済の減速を背景に一服感がみられている。
(情報通信機械)
- 海外経済の減速を背景にスマートフォンやパソコン向けの需要低迷が続いているほか、データセンター向けについても需要が弱含んでいるなど、先行きが読めない状況が続いている。
(電子部品・デバイス)

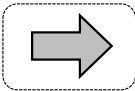


鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、H27=100)

区分	総合 (Wt=10,000)		汎用・生産用・業務用機械	輸送機械	化学	情報通信機械	電子部品・デバイス
	指数	前年比%					
4年	89.1	0.9	1,353.9	1,170.5	1,101.7	932.6	885.6
4. 4-6	87.8	—	86.1	84.4	117.3	27.3	113.6
7-9	91.6	—	86.4	96.1	124.9	37.7	114.0
10-12	92.2	—	87.1	104.5	126.3	47.0	106.7
5. 1-3	88.9	—	84.1	95.3	123.9	49.0	92.5
4. 11	91.8	3.4	83.7	101.4	129.6	45.9	106.5
12	91.9	2.5	88.6	100.8	129.8	48.5	104.0
5. 1	92.5	7.9	80.3	108.0	125.8	71.9	92.9
2	87.2	4.3	86.7	87.7	125.7	42.3	89.7
3	87.0	3.6	85.2	90.1	120.3	32.9	94.8
4	90.8	3.3	86.1	104.5	133.0	42.5	103.3
4. 11-5. 1	92.1	—	84.2	103.4	128.4	55.4	101.1
5. 2-4	88.3	—	86.0	94.1	126.3	39.2	95.9

(注) 1. 前年比は原指数。
2. 最終月は速報値。
3. 4年分は年間補正後。
4. 4. 11-5. 1、5. 2-4は今回の分析上参考とした期間。
[経済産業省、福島県]

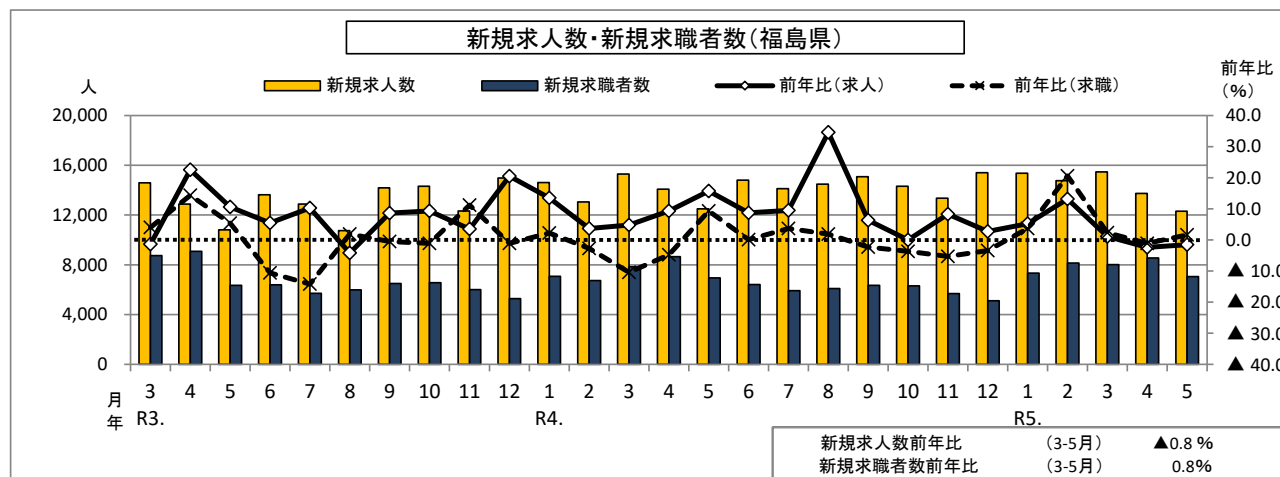
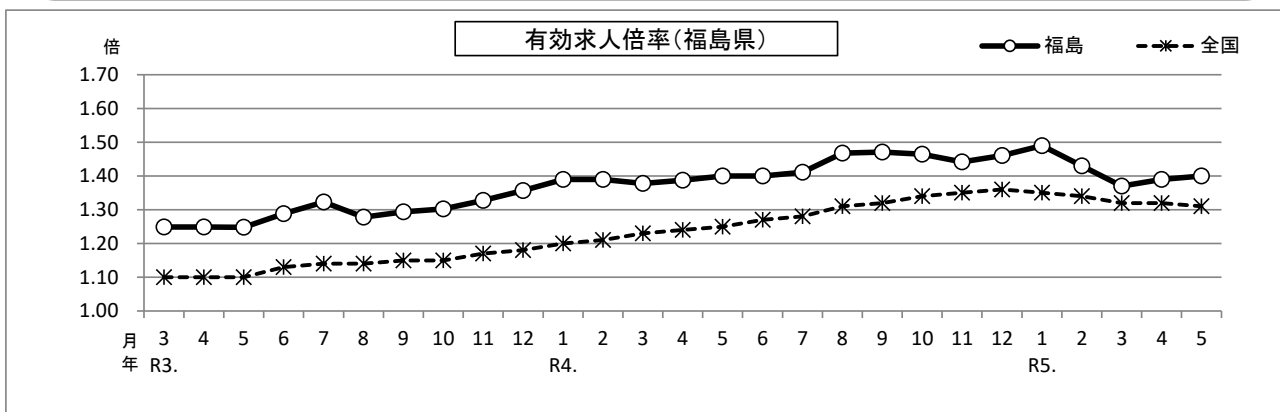
4. 雇用情勢 … 緩やかに持ち直している



- (1) 有効求人倍率は、上昇している。
- (2) 新規求人数は、建設業等で減少していることから、前年を下回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を上回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。

～ <参考> ～

- 医療機関では、慢性的な人手不足となっていることに加え、感染症の影響により受診を控えていた高齢者の来院が増加していることから、求人を増やしている。
- 外食需要が増加していることから、広域で飲食店を展開する企業からの大口求人がみられている。
- 建設業や製造業等では、人手不足は深刻化しているものの、原材料価格等の高騰により経費が増加していることなどから、募集人数を減らす動きがみられる。(公的機関)

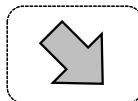


雇用状況 (福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済)	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
	倍	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
4 年	1.42	14,259	9.1	6,593	▲1.7	5,167	▲7.9	6,219	▲3.8
4. 4-6	1.40	13,802	11.0	7,334	0.7	1,882	▲1.1	6,154	▲4.3
7-9	1.45	14,558	15.4	6,122	1.0	1,086	▲23.1	6,946	▲1.7
10-12	1.46	14,358	3.5	5,700	▲4.2	993	▲13.0	5,922	▲5.4
5. 1-3	1.43	15,206	6.2	7,827	8.5	1,127	▲6.6	5,484	▲6.3
4. 12	1.46	15,395	2.7	5,103	▲3.4	275	▲9.2	5,604	▲9.4
5. 1	1.49	15,371	5.2	7,333	3.7	476	7.4	5,630	▲6.8
2	1.43	14,771	13.2	8,135	20.6	251	▲21.6	5,425	▲4.5
3	1.37	15,475	1.1	8,014	2.3	400	▲9.7	5,396	▲7.7
4	1.39	13,747	▲2.4	8,554	▲1.1	1,094	1.1	5,283	▲8.1
5	1.40	12,316	▲1.5	7,054	1.6	477	25.9	6,100	2.7
5. 3-5	—	13,846	▲0.8	7,874	0.8	1,971	3.5	5,593	▲4.3

- (注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。〔厚生労働省、福島労働局〕
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。
 3. 4年12月以前の有効求人倍率は改定値。
 4. 5.3-5は今回の分析上参考とした期間。

5. 設備投資 … 5年度は減少見込み



法人企業景気予測調査（5年4－6月期調査）で見ると、5年度は、製造業で増加見込みとなっているものの、非製造業で減少見込みとなっていることから、全産業では減少見込みとなっている。

設備投資

（前年度比増減率：％）

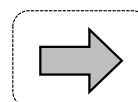
区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	(▲ 18.6)	6.7	(32.0)	▲ 19.2	(14.8)

（注）1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

2. () 書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査（5年4-6月期調査）」〕

6. 企業収益 … 5年度は増益見込み



法人企業景気予測調査（5年4－6月期調査）で見ると、5年度は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。

経常利益

（前年度比増減率：％）

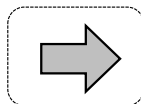
区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	(▲ 9.4)	9.2	(▲ 17.6)	▲ 4.5	(▲ 14.8)

（注）1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

2. () 書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査（5年4-6月期調査）」〕

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超幅が縮小 先行きは「上昇」超に転じる見通し



法人企業景況予測調査（5年4～6月期調査）の企業の景況判断BSIで見ると、現状（4～6月）は、全産業では「下降」超幅が縮小している。

先行きは、全産業では「上昇」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

（前期比「上昇」-「下降」社数構成比）

（単位：%ポイント）

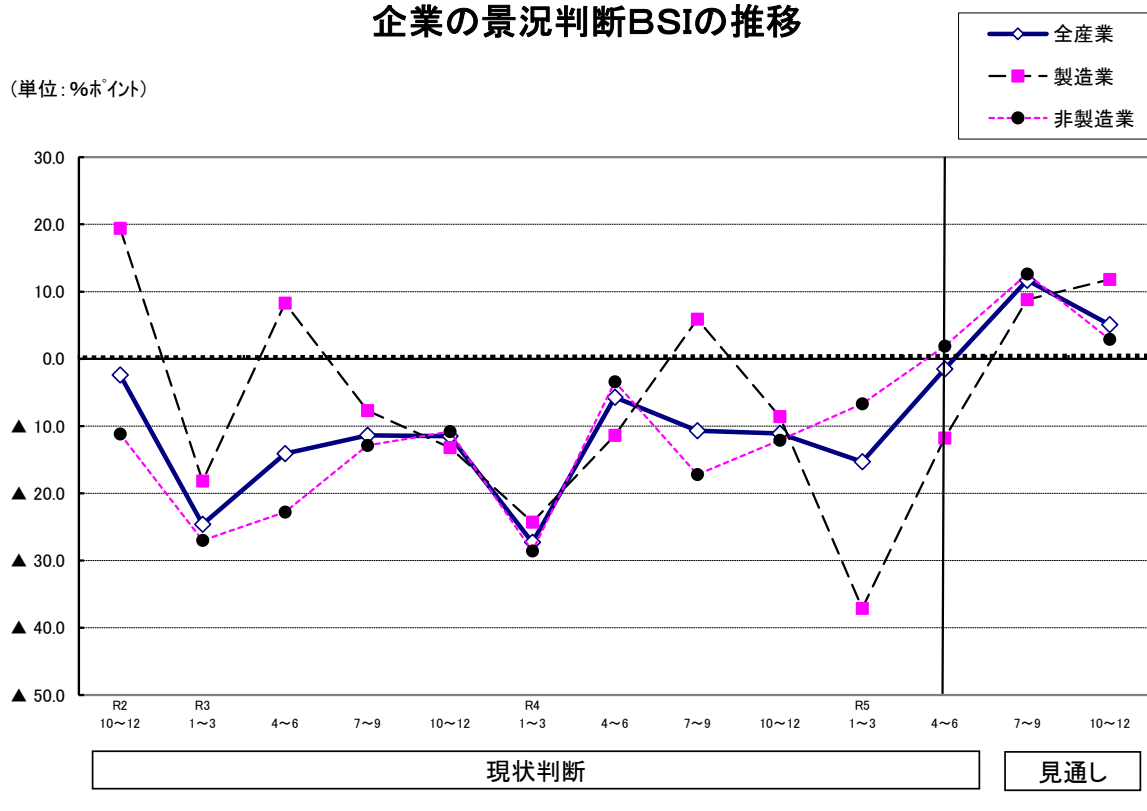
区分	5年1～3月 (5年1-3月期調査)	5年4～6月 現 状 判 断		5年7～9月 見 通 し		5年10～12月 見 通 し
全 産 業	(▲ 15.3)	(▲ 12.1)	▲ 1.5	(▲ 1.6)	11.7	5.1
製 造 業	(▲ 37.1)	(▲ 2.9)	▲ 11.8	(▲ 5.7)	8.8	11.8
非 製 造 業	(▲ 6.7)	(▲ 15.7)	1.9	(0.0)	12.6	2.9

（注）（ ）書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所「法人企業景況予測調査（5年4-6月期調査）」〕

企業の景況判断BSIの推移

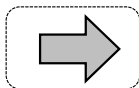
（単位：%ポイント）



BSI(Business Survey Index)の計算法

※BSI=（「上昇」と回答した企業の構成比）-（「下降」と回答した企業の構成比）

8. 住宅建設 … 前年を下回っている

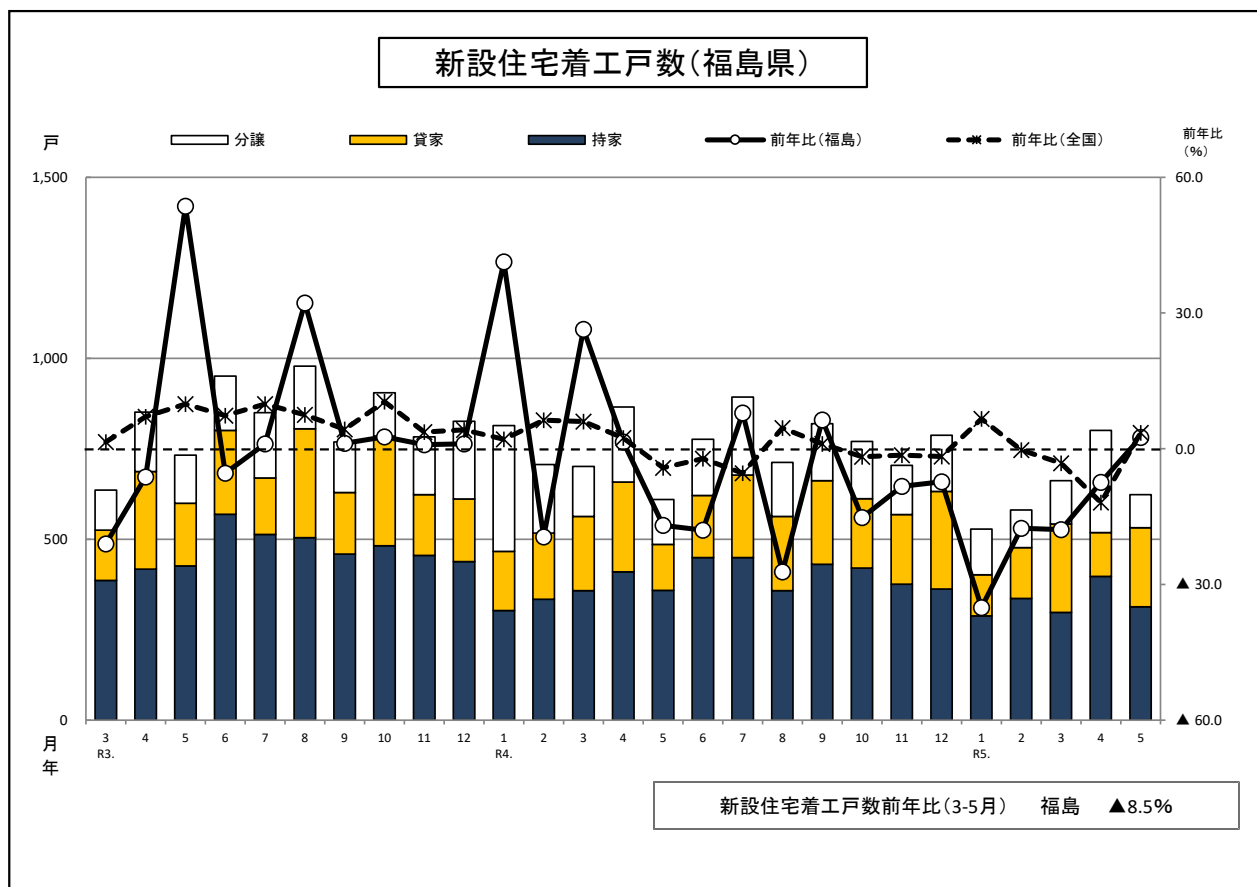


新設住宅着工戸数でみると、貸家、分譲が前年を上回っているものの、持家が前年を下回っていることから、全体としては、前年を下回っている。

～ <参考> 住宅建設に関する地域の声 ～

○資材価格の高騰を受け、注文住宅の販売価格を上げたことにより、受注が大きく落ち込んでいる。

(住宅建設)



新設住宅着工戸数 (福島県)

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%	前年比%		
4 年	9,330	▲ 4.7	▲ 13.9	▲ 5.3	17.5
4. 4-6 7-9 10-12	2,256	▲ 11.1	▲ 13.7	▲ 19.0	8.7
	2,458	▲ 5.7	▲ 16.1	5.9	5.7
	2,284	▲ 10.4	▲ 15.8	1.6	▲ 9.3
5. 1-3	1,776	▲ 23.8	▲ 7.3	▲ 9.4	▲ 48.1
4. 12	790	▲ 7.3	▲ 17.4	56.1	▲ 27.9
5. 1 2 3 4 5	530	▲ 35.1	▲ 5.0	▲ 30.1	▲ 63.8
	582	▲ 17.6	0.6	▲ 23.0	▲ 45.0
	664	▲ 17.9	▲ 16.8	19.0	▲ 13.0
	801	▲ 7.4	▲ 3.2	▲ 51.2	36.7
	625	2.5	▲ 12.8	72.4	▲ 26.6
5. 3-5	2,090	▲ 8.5	▲ 10.6	0.7	5.3

(注) 5. 3-5は今回の分析上参考とした期間。

[国土交通省]

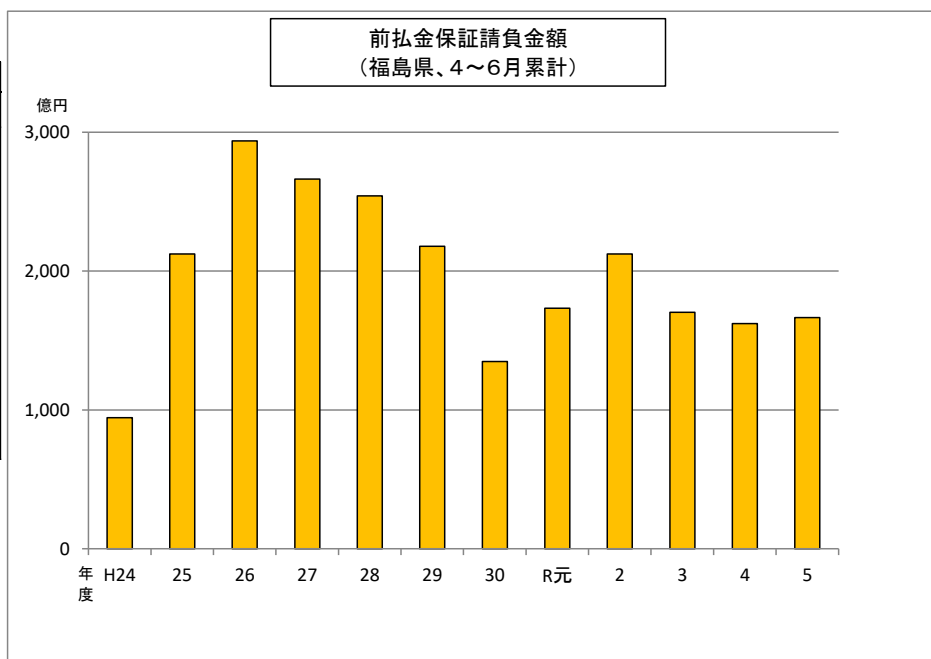
9. その他項目

(1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)でみると、前年度を上回っている

前払金保証請負金額 (福島県、4～6月累計)		
区 分	前払金保証請負金額	
	億 円	前年 同 期 比 %
24 年度	944	206.1
25 年度	2,124	125.0
26 年度	2,937	38.3
27 年度	2,662	▲ 9.4
28 年度	2,541	▲ 4.6
29 年度	2,179	▲ 14.2
30 年度	1,348	▲ 38.1
元 年度	1,732	28.4
2 年度	2,123	22.6
3 年度	1,703	▲ 19.8
4 年度	1,621	▲ 4.8
5 年度	1,665	2.7

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

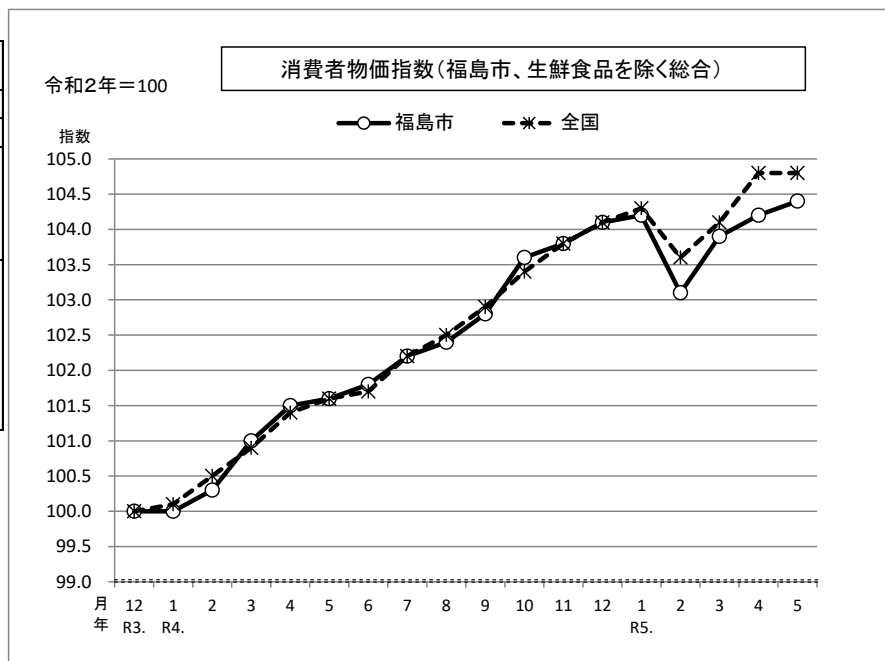


(2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価 (令和2年=100)			
区 分	福 島 市 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合		
	指 数	前 年 比 %	
4 年	102.1	2.5	
4. 4-6	101.6	2.6	
	102.5	3.1	
	103.8	3.9	
5. 1-3	103.7	3.3	
4. 12	104.1	4.1	
	104.2	4.2	
5. 1	104.2	2.9	
	103.1	2.8	
	103.9	2.7	
	104.2	2.7	
	104.4	2.8	

[総務省]



(3) 金融状況

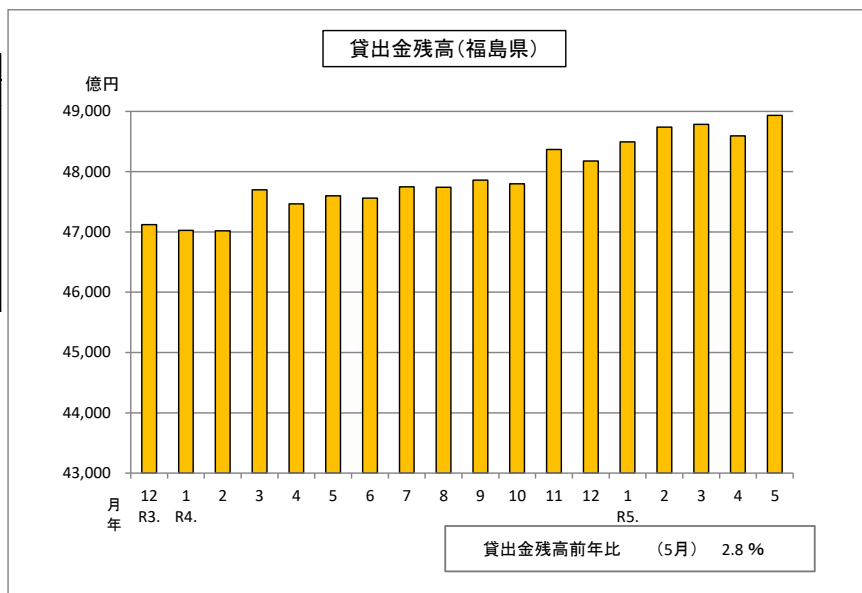
県内民間金融機関の貸出金残高で見ると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区分	貸出金	
	件数	月末残高(億円)
4.	10	47,800
	11	48,368
	12	48,177
5.	1	48,494
	2	48,739
	3	48,786
	4	48,595
	5	48,934

(注) 13銀行(県内店舗分)、8信金(全店分)ベース
 なお、銀行については、オフショア勘定及び
 中央政府向け貸出を除く。

〔日本銀行福島支店〕



(4) 企業倒産

件数、負債総額とも前年を上回っている

企業倒産件数・負債総額(福島県)

区分	件数		負債総額	
	件	前年比%	百万円	前年比%
4 年	66	32.0	12,483	14.7
4. 7-9	15	7.1	3,373	▲ 18.9
	21	40.0	4,498	62.9
5. 1-3	18	5.9	3,821	43.5
	22	69.2	4,118	111.2
5. 4-6	2	▲ 66.7	271	▲ 79.9
	10	150.0	3,265	1,045.6
	6	▲ 14.3	285	▲ 72.4
	1	▲ 50.0	100	58.7
	7	0.0	511	▲ 8.3
	14	250.0	3,507	163.7

〔株〕東京商工リサーチ

